

### 第37回神戸電鉄粟生線活性化協議会

日時：令和元年6月3日（月）  
午後4時～午後5時10分  
場所：三木市立教育センター 4階 大研修室

#### ○事務局

失礼いたします。それでは、定刻となりましたので、ただいまから第37回神戸電鉄粟生線活性化協議会を開催いたします。

私は、協議会事務局の三木市都市整備部の●●と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本協議会につきましては、例年4月に開催をしているところですが、本年はこの時期になってしまいましたことを、あらためてこの場をお借りしましておわびを申し上げたいと思います。

それでは、協議会の開会に当たりまして、協議会会長の仲田三木市長より御挨拶を申し上げます。

#### ○会長

皆さん、こんにちは。

令和元年度初めて、第37回神戸電鉄粟生線活性化協議会を開催させていただきましたところ、こうしてお忙しい中、関係者の皆様がたにはお集まりをいただきましてありがとうございます。

さきほど事務局から話がありましたように、開催が遅れました。改元もありました。10連休もありました。また、統一地方選挙もありまして、こうした時期になったことをおわび申し上げたいと思います。

さて、今日は平成30年度の事業報告並びに平成31年度の事業、また、予算について審議をいただきたいと思います。どうぞ、忌憚のない意見を出していただきたいと思いますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

なお、本年度初めてということでもありますので、この後、出席者の紹介をさせていただきますことをお伝え申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。どうぞ最後までよろしくお願ひいたします。

#### ○事務局

はい。ありがとうございました。

それでは、これより着座の上、進めさせていただきます。

それでは、本年度最初の協議会となりますことから、委員の皆様全員を御紹介したいと思います。お手元の「資料-1」の4ページ目、別表1に記載された名簿順で御紹介させていただきます。

まず、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第6条第2項第1号、いわゆる地方公共団体に属する者として、兵庫県県土整備部県土企画局長、●●様。本日は、代理で交通政策課長の●●様が御出席をいただいております。

#### ○●●委員代理

よろしくお願ひします。

○事務局

続きまして、神戸市都市局担当部長（交通担当）、●●様。本日は、代理で公共交通課交通支援担当課長の●●様に御出席をいただいております。

○●●委員代理

●●です。よろしくお願いいたします。

○事務局

続きまして、本協議会の会長であります三木市長、仲田一彦でございます。

○会長

はい。よろしくお願いいたします。

○事務局

続きまして、本協議会の副会長、小野市副市長、●●様でございます。

○副会長

よろしくお願いいたします。

○事務局

続きまして、第6条第2項第2号、関係する公共交通事業者として御出席をいただいております。

まず、神戸電鉄株式会社経営企画部長兼鉄道事業本部長付部長、●●様でございます。

○●●委員

●●でございます。よろしくお願いいたします。

○事務局

神姫バス株式会社バス事業部計画課地域公共交通担当課長、●●様でございます。

○●●委員

●●でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局

同じく2項2号に該当します関係する道路管理者といたしまして、兵庫県北播磨県民局加東土木事務所長、●●様。本日は、代理で●●様に御出席をいただいております。

○●●委員代理

●●です。よろしくお願いいたします。

○事務局

同じく神戸市建設局道路部計画課長、●●様でございます。本日は、御欠席とお聞きしております。

続きまして、三木市都市整備部道路河川課長、●●でございます。

○●●委員

三木市の道路河川課長の●●です。どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局

続きまして、小野市地域振興部道路河川課長、●●様でございます。

○●●委員

●●でございます。今後ともよろしくお願いいたします。

○事務局

続きまして、法第6条第2項第3号のうち関係する公安委員会として、兵庫県神戸西警察署交通第一課長、●●様でございます。

- 委員  
●●です。よろしくお願いします。
- 事務局  
兵庫県三木警察署交通課長、●●様でございます。
- 委員  
●●です。よろしくお願いします。
- 事務局  
兵庫県小野警察署交通課長、●●様でございます。
- 委員  
●●です。よろしくお願いします。
- 事務局  
失礼いたしました。異動により●●課長様に代わられております。  
続きまして、関係する地域公共交通の利用者といたしまして、押部谷町連合自治協議会会  
長、●●様。
- 委員  
●●と申します。よろしくお願いします。
- 事務局  
元押部谷町連合自治協議会副会長、●●様。
- 委員  
●●です。どうぞよろしくお願いします。
- 事務局  
元三木地区区長協議会会長、●●様。
- 委員  
●●です。よろしくお願いいたします。
- 事務局  
元三木市区長協議会連合会会長、●●様。
- 委員  
●●です。よろしくお願いします。
- 事務局  
NPO法人ひょうごグリーンスタッフ理事長、●●様。
- 委員  
●●です。よろしくお願いします。
- 事務局  
小野市商店街理事、●●様。
- 委員  
●●です。よろしくお願いします。
- 事務局  
神戸商工会議所常務理事・事務局長、●●様。本日、御欠席となっております。  
三木商工会議所副会頭、●●様。本日、御欠席となっております。  
小野商工会議所副会頭、●●様。
- 委員

●●です。よろしくお願いします。

○事務局

兵庫県立三木東高等学校総合学科推進部長、●●様。本日、御欠席となっております。

兵庫県立小野高等学校教諭、●●様。

○●●委員

●●です。よろしくお願いします。

○事務局

同じく2項3号、学識経験者として、国立大学法人神戸大学学長顧問、●●様。

○●●委員

●●です。よろしくお願いします。

○事務局

引き続き、オブザーバーについて御紹介をさせていただきます。

国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課長、●●様。本日は、交通企画課地域交通調整係長、●●様が代理出席となっております。

○●●委員代理

●●でございます。どうぞよろしくお願いします。

○事務局

国土交通省近畿運輸局鉄道部計画課長、●●様。

○●●委員

●●と申します。どうぞよろしくお願いします。

○事務局

国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部首席運輸企画専門官（輸送担当）、●●様。本日は、御欠席となっております。

兵庫県神戸県民センター神戸魅力づくり参事、●●様。本日、御欠席となっております。

兵庫県北播磨県民局県民交流室長、●●様。

○●●委員

●●でございます。よろしくお願ひいたします。

○事務局

神戸市西区総務部まちづくり課長、●●様。

○●●委員

●●と申します。どうぞよろしくお願いします。

○事務局

以上で委員の御紹介を終わります。

なお、本日の委員の出席状況といたしましては、本協議会の委員25名中、出席は21名であり、過半数以上の出席をいただいておりますことから、協議会規約第8条第4項の規定によりまして、本会議は成立していることを御報告いたします。

それでは、3、議事に入ります。

これからの進行につきましては、仲田会長にお願いいたします。

○会長

それでは、私のほうで進行させていただきます。

議事1号「平成30年度の協議会の事業報告」及び議事2号「平成30年度の協議会の歳

入・歳出決算及び監査報告」について、関連する内容でありますので、一括して事務局から報告をさせますので、事務局、報告をよろしくお願ひします。

#### ○事務局

失礼いたします。事務局をしております三木市都市整備部交通政策課長の●●でございます。また、今年度1年間、事務局の運営をしっかりと当たってまいりたいと考えておりますので、どうかよろしくお願ひをいたします。

それでは、報告及び説明につきましては、着座の上、失礼をいたします。

お手元資料、まずは資料の右上に「資料－2」と書いております平成30年度の協議会の事業報告ということでございます。時間の関係もございますので、要点を絞って総括的なところを説明させていただきたいと思っております。

その中で特に委員の皆様へ報告をさせていただきたい案件につきましては、次第にありますように、配布資料としてお付けしております。その内容につきましては、各担当のほうから報告をさせていただくという形態を取らせていただきたいと思います。

それでは、「資料－2」の1ページでございます。

まず、方針1と左側に書いております。その横ですけれども、「①鉄道とバスの連携強化」というところの(1)番です。「鉄道とバスの広域時刻表の作成」ということでございます。こちらにつきましては、昨年度に引き続きまして、平成30年度におきましても発行をさせていただきました。発行部数につきましては、平成29年度が好評でございまして、在庫切れになっている状況といったようなところもございますので、部数を5千部増やした上で増刷を図っております。併せて、ページ数の内容の充実、ウォーキングガイドを加えたり、あるいは神戸電鉄車両の紹介といったようなところ、内容も充実させた上で発行したところでございます。

それから、事業の「②交通結節点の強化」というところの(2)番のところでは、「駅、バス停の設備等の整備による快適性の向上」というところでございます。こちらは、神戸市さんの取組になりますが、昨年9月に鈴蘭台駅周辺の再開発ということで、駅ビルとそれから橋上駅舎が完成をされました。それに併せまして、駅前広場にバス停を整備され、供用を開始されたというところでございます。

それから、その下の(3)番です。「駅的美装化の検討」というところでは、平成30年度におきましては鈴蘭台西口駅、そして榎山駅、この2駅を対象といたしました。鈴蘭台西口駅につきましては、トイレの洋式化、それから榎山駅につきましては駅ホームの柱、背壁等の改修ということで、それぞれ対応をしたところでございます。こちらにつきましては、後ほど報告をさせていただきます。

それから、③番、鉄道施設の更新・改良によるというところでは、その(1)番です。「鉄道施設の更新・改良による安全で安定した輸送サービスの確保」というところでございます。いわゆる鉄道安全輸送設備等の整備に対する補助というところではありますが、平成30年度につきましては、国、県、沿線市を合わせまして、そこに記載のとおり、補助額といたしましては9億1,900万円ということで支援をさせていただいたところであります。

それから、そのページの一番下、(2)というところでは、新型6500系車両の2編成ということで、粟生線におきましても6500系を運行しているのを目にする機会が増えてまいりましたけれども、平成30年度におきましても2編成を新造ということでござい

す。

ページをめくっていただきまして、「2-2」というところに入ります。

方針の2に入りまして、その「①駅を中心としたまちづくりの推進」というところの(3)番「市営住宅の再編・空き地エリアの活用」というところで、こちらも神戸市様の取組になっておりますが、栄住宅、あるいは押部谷住宅の再編に向けた検討調査の開始といったところで取組を進められました。

それから②です。「観光資源の開発とアクセス手段の確保」といったところの(2)番であります。こちらにつきましては、昨年度に引き続きまして、神戸電鉄さんのほうとネスタリゾート神戸さんのほうで連携をされまして、夏場期間における「電車&プール格安クーポン」の発売ということで、観光資源を活用した取組を展開されております。実績等につきましては、記載のとおりであります。

それから③番「住宅・企業の立地を支える公共交通網の充実」というところの(1)番であります。これにつきましては、神戸市さんの取組、小野市さんの取組ということで書いております。神戸市さんにつきましては、木津駅と神戸複合産業団地を結ぶ路線バスの運行。一方、小野市さんにつきましては、樫山駅と匠台の工業団地を結ぶコミュニティバスの運行ということで、それぞれ栗生線利用の増加に寄与しているところでございます。この中で小野市さんの取組につきましては、この後、別途、報告がございまして。

それから、そのページの一番下になります。「駅周辺のにぎわいの創出」というところで、三木市の取組になりますが、三木駅の再生というところを書かせていただいております。三木駅につきましては、今現在、三木駅の整備方針の素案というところを策定しております。駅前広場の整備、駅舎の整備といったようなところで計画を進めております。今現在、近隣の地権者との用地交渉でありますとか、それから警察署との協議ですね。そういったところを、引き続き、進めておりまして、今後、整備に向けて着手をしていくといった段階に入っております。

続きまして、「2-3」ページであります。

一番上になりますけれども「④-2交通結節点におけるにぎわいの創出(沿線外)」というところで、昨年7月になりますけれども、神戸新開地の喜楽館がオープンをされたというところであります。

それからその下、方針3に入りますけれども、「①日常利用に対するモビリティ・マネジメントの実施」ということで、(1)番につきましては、住民向けのモビリティ・マネジメントであります。これにつきましては、実施対象者数が794人ということで、昨年度以上に実施を行ったということで、これにつきましては、また、後ほど報告をさせていただきます。

その下の(2)番であります。「園児・小中学生に対するモビリティ・マネジメントの実施」、その中のバスの乗り方教室ということで、神姫バスさんのほうにも例年大変お世話になっておりますけれども、将来の公共交通の利用者に向けた、小学校を対象としたバスの乗り方教室、昨年度につきましても実施をさせていただいたところであります。

それから、その下の「神鉄トレインフェスティバルの実施」ということで実施を行っております。来場者数につきましては、3千人を超える来場者のかたということで、昨年度を大きく上回っているという状況でございます。神戸電鉄さんの開業90周年を記念した展示でありますとか、販売でありますとか、そういったところが行われたところであります。ま

た、小野高校の生徒さんにつきましても、しんちゃんパン、そういったものの販売などで御協力をいただきましたので、この場にて報告をさせていただきます。

そのページの下(4)番になります。地域住民・組織・団体のというところ書いております「粟生線サポーターズくらぶの運営サポート」というところで、いわゆるサポーターズくらぶの会員数の実績を書いております。その中で、特に特別会員の数が8,098口であります。これにつきましては、先の協議会でも報告をさせていただいたところでもありますけれども、三木駅の再整備のための協力といったところで、8千口近い寄附金をお寄せいただいたということで、昨年度に比べ、大きくこちらが増加しているところでございます。

それから、ページをめくっていただきまして「2-4」ページになります。

③番のところの(1)、その中で「粟生線乗ろうDAY!プログラム」といったところがあります。上から2つ目にありますけれども、こちらは小野市さんの取組になりますが、90周年記念と連携をしたイベントということで、小野市の産業フェスティバル、いわゆる“産フェスおの”といった取組をしていただいております。こちらにつきましても、小野高校生さんのPR等の活動があったというふうにお聞きしております。

それから、その3つ下になりますけれども、「山田錦まつり号で山田錦まつりへGO!」といったようなところ、三木市の取組になりますけれども、こちらにつきましては、後ほどまた報告をさせていただきたいと思っております。

それから、最終ページになります「2-5」ページであります。「(5)沿線外への地域情報等の発信」というところで、「神戸電鉄開業90周年記念事業の実施」というところ、そこに「粟生線スタンプラリー」の実施ということで、秋から冬にかけてスタンプラリーを実施させていただきました。こちらにつきましても大変好評であったと考えております。また、報告につきましては、この後させていただきます。

それからその下ですが、神戸市さんの取組で、ふるさと納税における返礼品ということで、神戸市さんにおかれましても平成30年度からその取組を開始されたということであります。寄附金額等の実績につきましては、記載のとおりでございます。

それから、最後④というところ、「企画乗車券等の販売による公共交通の利用促進」であります。

こちらにつきましては、(1)のちょうど上から4つ目になります。こちらは、三木市の取組になりますが、三木市におきましてもふるさと納税による返礼ということで、平成29年度から実施をしておりますけれども、平成30年度実績についても報告をさせていただきたいと思っております。

それから、最後(2)番です。「対象者等を限定した企画乗車券の発行」ということで、神戸市さん、それから三木市におきましても、いわゆる高齢者向けの乗車券を発売しております。実績については記載のとおりでございますけれども、交付対象者数の増加などによりまして、昨年度に比べて実績が大きく増加しているところでございます。

それでは、平成30年度の実績に関連しまして、配布資料に記載しておりますけれども、らんらんバス「匠台ルート」の報告ということで、小野市さんのほうから報告をお願いしたいと思います。

○小野市

失礼いたします。

それでは、小野市総合政策部交通政策グループの●●より御説明をさせていただきます。

それでは、座って説明します。

それでは、配布資料のうち『らん♡らんバス「匠台ルート」について』という資料をお手元へお願いいたします。

匠台ルートにつきましては、平成29年9月より粟生線活性化や市内の就労環境の整備などを目的といたしまして、運行を開始しております。

こちらの運行につきましては、「神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画」の方針2に掲げます「まちづくりと連携した地域公共交通網の形成」に関連した取組となっております。

こちらの匠台ルートにつきましては、運行曜日が月曜日から土曜日となっております、運行ルートは神戸電鉄樫山駅から小野工業団地や流通等業務団地を結ぶものとなっております。

配布資料の中段、5番になっておりますけれども、こちらは平成30年度の月間利用者数の推移を記載しております。運行当初から利用者の増加は続いておりまして、平成30年度につきましても順調に利用者が増加したことを御確認いただけるかと存じます。若干減少に転じております月もございますが、平日の日数の違いなどによる影響であると考えております。

また、1つ進んでいただきまして、6番には平成29年度と平成30年度の比較表を記載しており、月当たりの平均利用者数は約1,300人の増加となっております。

なお、本年4月の利用者数は約4,400人となっております、単純計算いたしますと、今年度の年間利用者数は約5万人に上る見込みとなっております。

以上、簡単ではございますが、説明とさせていただきます。

#### ○事務局

はい。続きまして、同じく配布資料です。その次にあります「駅的美装化の取組状況」につきまして、神戸電鉄さんのほうから御報告をお願いいたします。

#### ○神戸電鉄株式会社

神戸電鉄運輸部の●●と申します。駅的美装化の取組状況につきまして、私より御報告をさせていただきます。すみません、着座して御報告させていただきます。

お手元の資料、3枚1組の資料でございますけれども、こちらの要点を読み上げまして御説明をさせていただきたいと思っております。

平成30年度の駅的美装化の実施駅といたしましては、鈴蘭台西口駅及び樫山駅の2駅でございます。

実施の内容でございますけれども、2の(1)にございますけれども、まず、鈴蘭台西口駅におきましてはトイレを洋式化いたしましたとともに、トイレの壁面等を改修いたしております。

そして、樫山駅におきましては(2)にございますけれども、老朽化の著しい駅ホームの柱、背壁等を補修するとともに、上りホームの経年劣化したベンチを新しいものに交換いたしております。

実施時期につきましては、平成31年3月に実施をいたしました。

総事業費といたしましては、276万9,000円となっております。

今後の予定でございますけれども、今後もこちらの協議会の計画対象期間内におきまして、駅的美装化を順次、検討・実施していく予定としております。

2ページ目以降は、その状況の御報告の写真でございます。



2ページ目が鈴蘭台西口駅の施工前、施工後の写真でございます。

3ページ目が、榎山駅の上りホーム、下りホームのそれぞれ施工前、施工後の写真となっております。

なお、こちらの施工後の写真のほうには、この粟生線活性化協議会の取組であるということを確認するために、この2ページ目の鈴蘭台西口駅の一番下の写真を御覧いただいたら分かりやすいんですけども、神戸電鉄粟生線活性化協議会の丸いステッカーを張り付けております。

駅的美装化の取組状況につきましては、以上でございます。

#### ○事務局

はい。続きまして、配布資料の最後になりますけれども、『神戸電鉄開業90周年記念「粟生線スタンプラリー」の実施について』から、資料としては一番最後になりますけれども、「平成30年度のモビリティ・マネジメントの取組状況について」まで、こちらは三木市のほうから御報告をいたします。

#### ○事務局

三木市都市整備部交通政策課の●●と申します。私のほうから説明をさせていただきます。着座の上、失礼いたします。

そういたしますと、『神戸電鉄開業90周年記念「粟生線スタンプラリー」の実施について』という資料でございます。

1番の事業の概要というところでございますけれども、スタンプ設置場所のうち粟生線の駅の中から1駅、それから観光スポットの中から1か所のスタンプを押印した応募者に対して、抽選で90名様に「神戸電鉄1dayフリーパス」を贈呈いたしました。

それから更に、当選した90名のうち9名につきましては、ダブルチャンスといたしまして、沿線3市にちなんだ商品、これを抽選で贈呈をいたしました。

実施期間は平成30年10月1日から12月28日までというところで、実施をしたというところでは。

実際のスタンプ設置場所につきましては、粟生線の駅としましては西鈴蘭台駅、木津駅、緑が丘駅、三木駅、小野駅及び粟生駅。

観光スポットにつきましては、しあわせの村温泉健康センター、こうべ環境未来館、ネスタリゾート神戸、三木鉄道ふれあい館、白雲谷温泉ゆびか、それからあお陶遊館アルテというところございました。

応募総数につきましては1,023枚ということで、このうち記載漏れ等々、あるいはスタンプの押し間違いであったりとか、そういったところを無効ということでさせていただきますと、有効の枚数が955枚、それから無効の枚数が68枚でありました。

実施の結果といたしまして、スタンプの押印箇所の内訳としては御覧のとおりということで、神戸市、三木市、小野市、それぞれたくさんのかたに御参加いただいたというところが見てとれるかと思えます。

1ページめくっていただきまして、(2)というところですけども、地域別の応募者数ということで、さきほどの応募総数1,023枚の内訳を地域別に記載しております。神戸市さんのところが500枚を超えるような枚数でありまして、それから三木市、小野市、それから県内の沿線市外でもたくさんのかたに御参加をいただいたというところでは。

更に、県外からも遠方のほうからこちらのほうのスタンプラリーに御参加をいただいたと

というようなところでございます。

その下の年代別応募者数につきましても、偏りなくいろんな世代のかたにこのスタンプラリーに参加いただいたというようなところでございます。

(4)、(5)につきましては、実際の1dayフリーパスでありますとか、沿線3市にちなんだ商品の当選者数の内訳を記載しておりますので、こちらのほうを御覧いただけたらと思います。

簡単ではありますが、まずは、スタンプラリーの報告とさせていただきます。

続きまして、『山田錦まつりと連携したイベント列車「山田錦まつり号で山田錦まつりへGO!」の実施について』というところを御報告させていただきます。

こちらのほうですね、3月9日の土曜日に実施しておりますイベントとなっております。

日本を代表する酒米「山田錦」を育む粟生線沿線「山田錦の郷」を広く周知・PRするとともに、粟生線の活性化及び利用促進を目的といたしまして、吉川町で開催されております「山田錦まつり」の会場まで貸切列車と貸切バスを運行したというところ です。

実際の列車には、特製記念ヘッドマークを付けまして、電車の中には畳を敷き詰めて日本酒を楽しんでいただいたり、それから山田錦の館の中にあります企業組合彩雲さんの特製おつまみを楽しんでいただいたり、それから飲食の間には、本市出身の歌手であります衣川亮輔さんに生演奏を披露いただいたり、それから抽選にはなりますけれども、1dayフリーパスを贈呈したりというようなところでイベントを実施したというところ です。

参加者数は、当日のキャンセルもございまして97人というところでしたけれども、応募定員100名に対して、販売受付を開始してから1週間も経たないうちに定員を超えたというような人気の企画となっております。

参加費、事業費については御覧のとおりです。

2ページ目に、イベント当日の写真を掲載しております。

左上のほうですけれども、ヘッドマークを掲出した車両、右上のほうが実際に畳を敷き詰めた車内の様子、それから下のほうですね、参加いただいたかたのイベントを楽しんでおられる様子のほうを写真のほうに掲出をしております。

以上、山田錦まつり号の実施報告とさせていただきます。

最後に、「平成30年度のモビリティ・マネジメントの取組状況について」というところ です。

時間の都合上、一つ一つの項目確認は省略とさせていただきたいと思っておりますけれども、平成30年度も沿線3市、積極的にモビリティ・マネジメントを開催したというところ です。

1ページ目から3ページ目までがいわゆる「日常利用に対するモビリティ・マネジメント」ということで、内容によっては神姫バス様、それから神戸電鉄様にも実際に地域のほうにお越しいただいて、モビリティ・マネジメントの活動に参加いただいたというようなところもございまして、合計の対象参加者人数といたしましては794人であったというところ でございます。

それから最終ページ、4ページ目になりますけれども、こちらのほうは「職場におけるモビリティ・マネジメント」、いわゆる企業等々に入らせていただいてモビリティ・マネジメントを実施するというところでございますけれども、こちらのほう、平成30年度は三木食づくりの会、これは三木市内の飲食業のかたが参加しておられる会なんですけれども、こちらのほうにモビリティ・マネジメントという形で入らせていただいて、神戸電鉄様のほうの

御協力もいただきまして実施ができたというところでございます。

簡単ではありますが、以上、報告とさせていただきます。

#### ○事務局

はい。そうしたら続きまして、議事が変わりました。議事2号になります。資料でいいますと右肩「資料-3」と書いてある資料になります。

さきほど平成30年度の事業報告をさせていただいたところでありまして、当協議会の歳入・歳出の決算の報告を、まず初めに私のほうからさせていただきたいと考えております。

まず、表の上、歳入であります。

科目1の負担金というところでありまして、こちらは備考欄も併せて御覧をいただきたいんですけども、神戸市さん、三木市、小野市さん、そして神戸電鉄さん、4者の協議会への負担金からなります負担金といたしまして、1,522万8,949円でございます。

続きまして、科目2の補助金につきましては、国庫補助金の収入ということで50万円です。こちらにつきましては、計画推進事業の2年目ということで、補助金を交付を受けることができました。こちらにつきましては、さきほど報告をいたしました「栗生線&バス乗継ガイド」、いわゆる広域時刻表、こちらのほうの作成費に充当をさせていただきました。

科目の3番、繰越金、こちらにつきましては、平成29年度からの繰越金といたしまして4円。

4の諸収入につきましては、預金利息といたしまして45円。

歳入合計といたしましては、1,572万8,998円となったところでございます。

続きまして、表の下側、歳出であります。

こちらにつきましては、科目1の運営費におきましては、平成30年度は協議会を3回開催しております。これらの開催などに要した経費といたしまして37万6,990円。

そして、2の事業費といたしましては、さきほど平成30年度の事業報告をさせていただきました。栗生線の利用促進につながるさまざまな事業の取組を行ってきたわけですが、これらの事業の展開に要した事業費といたしまして1,535万2,006円となっております。

それから、3の返還金につきましては、決算額がゼロ。

4の繰越金につきましては、令和元年度への繰越しといたしまして2円。

以上、歳出合計といたしましては、1,572万8,998円となったところでございます。

歳入・歳出決算の報告につきましては、以上でございます。

#### ○●●委員代理

それでは、次ページ、会計監査報告をさせていただきます。監事の●●が本日欠席しておりますので、代理で監査報告させていただきます。

会計監査報告。平成30年度神戸電鉄栗生線活性化協議会歳入歳出決算について、決算書と証拠書類等を照合した結果、いずれも適正に管理され、違算なきことを確認しましたので、ここに報告します。

令和元年5月21日、神戸電鉄栗生線活性化協議会監事、竹本真也。

#### ○会長

はい、ありがとうございました。

それでは、議事の1号、2号について、御意見、御質問等ありましたら、挙手にてお願いをいたします。また、もしなければ最後までけっこうです。よろしいですか。

すみません。私が聞いたら申し訳ないんですが、教えてください。

「資料-3」の負担金1,600万の予算額に対して、決算額がえらい中途半端な数字で1,522万8,949円、これはなぜですかね。

○事務局

こちらの負担金ですけれども、実際に平成30年度事業を実施しまして、事業費が出てくると。その実際に出てきた事業費に対しまして、4者で負担金ということで最終的に精算をするというような格好になっております。そういう形で、最終的に少し半端な数となっているところでございます。

○会長

はい、ありがとうございます。

ほかに御質問はありますでしょうか。

ではまた、もし後でありましたらよろしく申し上げます。

それでは、引き続き、質問がないようですので、議事の1号、2号について、皆様गत、よろしければ御承認をいただけますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

はい。異議ないと認めますので、議事1号、2号は承認されました。

続きまして、議事3号並びに4号について、一括して事務局から説明をお願いします。

○事務局

はい、続けて失礼いたします。

それでは、議事の3号といたしまして、右肩資料の「資料-4」と書いてある1枚ものをお願いいたします。

令和元年度の当協議会の取組方針と、それから重点事業(案)についてであります。

まず、1つ目の取組方針といたしましては、大きく3つの段階に分けて書いております。

まず、1つ目でありますけれども、この形成計画につきましても策定してから令和元年度が3年目に該当するという年度であります。引き続きまして、計画の目標・理念、あるいは基本方針などに基きまして、関係者が主体となりまして積極的な公共交通の維持・活性化に継続して取り組んでまいりたいと考えております。

それから、段落の2つ目に書いております。計画にも記載しているとおりなんですけれども、令和元年度から新たに取組むということで記載をしております「鉄道とバスの乗継割引乗車券の検討」「駅の空きスペースや駅前空間の活用」「転入者に対するモビリティ・マネジメントの実施」といったところにも新たに着手をしてみたいと考えております。

それから、段落の3つ目であります。さきほども申し上げましたけれども、本年度につきましても5年間の計画の中間年度に該当するというところでございます。計画に基きましていわゆるPDCAサイクルを回していきまして、中間評価ということで実施をいたしたいというふうに考えております。その結果に基きまして、事業の効果検証であるとか、あるいは今後の取組施策への改善といったところも図ってまいりたいと考えております。

それから、項目の2番目です。重点事業ということで、大きく3点を掲げております。

まず、(1)番、基本方針の1に基づく取組であります。まず、「ア」といたしまして、「鉄道とバスの広域時刻表の作成」ということを挙げております。こちらは継続事業であります。過去2年間、国庫補助金をいただきながら作成してきた広域時刻表でありますけれども、引き続き、単独事業とはなりますが情報発信あるいは乗継ぎの利便性の向上を図るということで、引き続き、作成してまいりたいと考えております。

それから「イ」であります。「車両更新等への側面的な支援」ということで、今年度につきましても車両更新の編成、予定数ですけれども1編成ということで編成が予定されておられます。こうしたことから、当協議会におきましても、対外的な周知、また、秋頃に予定しておりますが、国要望の実施などによりまして事業を側面的に支援してまいりたいと考えております。

それから「ウ」につきましては、「駅的美装化の実施」を挙げております。こちらにつきましても、駅的美装化を継続して実施し、粟生線利用者の快適性の向上につなげてまいりたいと考えております。

美装化の対象とする駅につきましては、また、今後、実務担当者などにおきまして選定をいたしまして、実施に当たっていきたくと考えております。

それから、方針の(2)番です。まちづくりと連携したというところではありますが、こちらにも継続事業といたしまして、鈴蘭台駅前の再開発工事ということを挙げさせていただきました。

平成30年度におきましては、駅ビル、橋上駅舎の建設がなされたということでもあります。本年度につきましては、駅前広場の完成を目指されるということで聞いております。基本方針として挙げさせていただいております。

それから、基本方針の最後、3つ目でありますけれども、まず「ア」といたしまして「粟生線スタンプラリーの実施」を挙げております。平成30年度につきましては、90周年の記念事業ということで実施をいたしました。これが大変好評でありましたことから、記念事業という冠は外れますけれども、今年度におきましても、引き続き、実施をいたしたいと考えております。

そして、最後に「イ」といたしまして、モビリティ・マネジメントの推進であります。やはり、引き続き、公共交通の利用意識を高めるというところでは欠かせない取組と考えております。継続してこれらに当たってまいりたいと考えております。

続きまして、議事の4号になります。右肩、資料番号「資料-5」であります。令和元年度の協議会の歳入・歳出の予算(案)であります。

こちらにつきましては、さきほど平成30年度の決算を説明させていただきました。基本的な作りとしては大きく変わっておりません。

まず、歳入であります。

負担金については、4者からの負担金ということで1,600万円。

補助金につきましては、収入見込はございません。

繰越金、諸収入につきましては、予算上、科目存置ということで例年置かせていただいております。

歳入合計といたしましては、1,600万2,000円ということで考えております。

一方、歳出であります。

運営費につきましては、過去の実績等を勘案して、協議会の開催経費等といたしまして40

万円。

事業費につきましては、1,560万円。

返還金、予備費につきましては、予算の上の科目存置という形で置かせていただきまして、歳出合計額1,600万2,000円ということで収支の均衡を図っております。

以上で、協議会の取組方針、それから歳入・歳出予算（案）について説明を終わります。

○会長

はい。ありがとうございました。

それでは、議事3号、4号について、御意見、御質問等ありましたら挙手にてお願いをいたします。

どうぞ、●●さん。

○●●委員

鉄道とバスの広域時刻表の作成ということで、平成29年度も1万部、平成30年度は1万5千部作られて、また、今年も作られるのであれば、ちょっと注文を付けたいんですが、鈴蘭台駅で有馬線に乗るときの時刻表がちょっとあればありがたいなと思うんですが、その辺、考慮していただけないでしょうか。

以上です。

○会長

はい。事務局、いかがでしょうか。

○事務局

失礼します。三木市交通政策課で係長をしております●●と申します。

ありがとうございます。時刻表につきましては、改善、改善を行いながら作っていきたいと思いますので、鈴蘭台駅ですかね、そちらで有馬線等との、有馬、三田方面ですかね、そちらの方面への乗換えの時刻ですね。この時刻の記載についても検討していきたいなと考えております。よろしく申し上げます。

○会長

よろしいですか。●●さん。はい。

ほかに御意見、御質問等はございますでしょうか。

また、あれば、最後でけっこうでございます。

では、ここはないようですので、この議事3号並びに4号について、原案どおりということで御承認いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○会長

はい。ありがとうございます。ということで、3号、4号はそれぞれ承認をされました。

では、ここから報告事項に入ります。

報告事項の「（1）粟生線の利用状況」について、神戸電鉄様から報告をお願いします。

○●●委員

はい。それでは、「資料－6」に基づきまして御報告申し上げます。

「資料－6」、「粟生線の利用状況について」ということで、1つ目に年間実利用者数の推移を記載してございます。2013年度から2018年度ということで、一番右側が昨年度の実績で、昨年度は21万人ほど減少の79.4万人という結果になりました。21万人減りましたけれども、このうちの13万人ほどは災害によるもので、運休等がございましたの

でこれだけ大きく減ったということでございます。

ちなみに5年間でみますと、利用者数の減少は77万人ということで、だいたい年間、災害の影響を抜きますと13万人ぐらい減っているということで、依然、減少傾向が変わらないというところでございます。

目標の850万人に対しては、56万人未達ということでございますので、なかなかちょっと厳しい状況にあるというところでございます。

次に、2つ目のところでございますが、この5年間で減った人数を1日当たりの利用者数で割り直して、どこの区間で減っているのかということに記載したのが2つ目の表でございます。

左側に「乗車駅」と書いていまして、右側に「降車駅」と書いてございます。「乗車駅」のところは線名が入っております。「粟生線」と書いているところは粟生線に属する駅で乗られたかたという意味合いで、右側の「降車駅」に属するところの「粟生線」は粟生線の駅で降りられたかた、「有馬線」のところであれば有馬線で降りられたかたというようなことで、その増減が1日当たりどうなっているかというものを記載した表になってございます。

欄外のところに書いておりますが、この5年間は1日当たり2,098人の減少となっております。

内訳が今申し上げた表に書いてあるわけですが、粟生線で乗車して粟生線で降りたという、いわゆる粟生線だけを利用していらっしゃるかたの減少が1日当たり306人ですから、約15%が粟生線です。

逆に言いますと、85%が粟生線を越えて、有馬線を経由してほかのところへ行かれています。特に「他社局」と書いてあるところが、新開地でお乗換えをされているかたということなんですけれども、減少しているといった傾向がこれで見えるかと思えます。

粟生線だけの利用、これは学生のかたが非常に多いんですけれども、一方、通勤だと他社局に行かれる利用が多いというところから、こういった傾向が出ているといったところでございます。

次に、「6-2」でございますが、それを各駅で乗降をみた場合ということで、一番上の鈴蘭台西口駅のところを御説明申し上げますと、1つ目、「+11」となっているところが、粟生線で乗ってきて鈴蘭台西口で降りた。あるいは、鈴蘭台西口から乗って粟生線のどこかの駅で降りた。そういったかたの乗降が「+11」、1日当たり「+11人」であったと。右側は、有馬線の側から鈴蘭台西口駅に来ておりたかたが52人減ったと。次が、鈴蘭台西口駅から乗って有馬線のほうへ行かれたかたが50人減ったということで、この駅の合計としては91人マイナスになっていると。そういったことの内訳がずっと下のほうへ伸びていっているわけですが、この中で増えている駅について御説明をしておきます。

まず、藍那駅、ここはもともとが少ない乗降者数なんですけれども、合計で「+3」となっているところは、これは藍那小学校の校区の変更がございまして、その教職員のかたであるとか、通われている生徒さんの関係で増えているというところでございます。

次に、木津駅、ここがこの5年間の中では一番乗降者数が増えているところでございますけれども、複合産業団地への企業進出及びその工場の稼働が上がっているといったところから、こういった数字になってございます。

大村でございますけれども、大村は学校の最寄り駅でございますので、年度によって学生

がどこで乗り降りするかと。三木高校の場合は大村駅で乗降されるか、あるいは三木駅で乗降されるかというところがございまして、年度によってはそれが変わるということに加えて、近年は檜山の工業団地に通われるかたが大村を利用されていまして、そこでも増えているといったようなところから、これが増えているというところがございます。

今、檜山のことを申し上げましたけれども、さきほど小野市さんからも御報告がありました。らんらんバス「匠台ルート」ができて、工業団地のほうへ従業員のかたが行かれると。バスの利用者数が伸びているということでございまして、粟生線の利用も増えています。現在利用が多いのが檜山駅と大村駅の間、あるいは檜山駅と小野駅の間、ここが増えているということでございます。

というようなところで、今利用が増えているところは、そういったことで駅近のところに就業の場ができていたところ、利用が増えるというようなところにつながっているということ、この表から分かっていたらと思います。

続きまして、「6-3」ページに行きまして、これが昨年度の利用者数の実数でございます。

この表の下のほうに、「粟生線各駅における乗降の状況」というのがございますけれども、この表で見ていただきたいポイントとしては、「1日当たり」というような人数がありますけれども、各駅の1日の乗降については、昨年このような実数であったというところがございます。

市域ごとに色を付けて帯をしておりますけれども、神戸市内の乗降が全体の中で47.3%、三木市内の乗降が36.3%、小野市内の乗降が16.4%というような内訳になってございます。

その増減でございますが、次のページに行ってくださいまして、これが1年間の増減でございます。

細かいところは、また、見ていただいたらと思うんですけども、また、ちょっと増えているところを御説明させていただきますと、さきほど5年間の推移の中で御説明したところとおおむね変わらないんですけども、木津駅、大村駅、檜山駅といったようなところが増えているというところなんです。それに加えて三木上の丸駅、これが増えているんですが、こちらは昨年5月に「レトロチ」というイベントで、三木駅の焼失を受けてテレビの企画で寄附金を募集するというようなことをテレビ局がやられまして、その関係で多くのかたが来られたということに加えて、定期券がけっこう増えていまして、なかなかちょっとこれ、なんで増えているのか分からなかったんですけども、調べましたところ、通学定期が増えていまして、上の丸駅で降りて、たぶん吉川高校かなと思われるんですが、そちらに行かれている生徒さんが増えていると。定期券としては志染駅と三木上の丸、あるいは緑が丘駅と三木上の丸、こういったところの区間の定期を買われているかたが増えているといったようなことになってございます。

ということで、増えているところで申し上げると、工業団地、就業の場、それと学生の利用状況の変化というようなところで変わっているというような状況でございます。

以上でございます。

○会長

はい。ありがとうございました。

粟生線の利用状況ということで説明がありましたけど、何か御意見等、御質問等はござい



ますでしょうか。

はい、どうぞ。

○●●委員

神姫バスでございます。

この春から上の丸の駅から高校生のかたが相当多く乗られるようになっていきます。我々も神鉄さんを受けて吉川高校まで運ぶ務めがございますので、連携しまして増便ということでやっておりますので、御報告いたします。

○会長

私もたまにすれ違うんですが、ちょっと事務局に聞くと、僕が見たのはバスが2台続けて並んで行っていると思ったら、なんか最近では3台やという話も聞くんですが、そうなんですね。

○●●委員

はい。

○会長

分かりました。ありがとうございます。

就業と通学というのは、やはり大きなポイントだなということがよく理解ができました。

ほかに御質問等がございますでしょうか。

はい。なければ、最後にまた一括でお聞きします。

それでは、報告事項の「(2) 沿線市のふるさと納税を活用した利用促進策の取組」について、報告を願います。

○事務局

失礼します。

そうしましたら、お手元の「資料-7」を御用意ください。

こちら、沿線市のふるさと納税を活用した利用促進策の取組について、御報告させていただきます。

「神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画」の方針3に掲げます「地域公共交通の活性化及び利用促進」に基づきまして、自治体、交通事業者等が協働して沿線市のふるさと納税を活用した利用促進策に取り組むものでございます。

事業の内容としましては、三木市へのふるさと納税の寄附者に、1万円の寄附に対する返礼品として、神戸電鉄1日乗り放題チケットと有馬温泉太閤の湯利用及び特典利用チケットを御提供するものでございます。

神戸電鉄乗り放題チケットにつきましては、湊川駅までが1日乗り放題となる磁気カードの乗車券ですね。こちらを1枚提供いたします。

太閤の湯様の利用チケット及び特典チケットにつきましては、太閤の湯様の利用及び同施設内で特典を受けることができる1回利用券を1枚提供いたします。特典は、利用者の選択による施設内でのドクターフィッシュ体験の利用又はソフトクリームへの引換え等を予定しております。

返礼品の名称は御覧のとおりでして、提供者としまして神戸電鉄株式会社様及び株式会社有馬ビューホテル(有馬温泉太閤の湯)様のほうに御提供をいただく予定にしております。

提供期間としましては、来月ですね、7月1日から来年3月31日まででございます。

利用期間としましては、同じく7月1日から来年の6月30日までとしております。

1つめくっていただきまして、チケットの図柄等を掲載しております。上が、乗り放題チケットの図柄、神戸電鉄フリーパスでございます。下が、太閤の湯様の温泉の写真と、あとドクターフィッシュの画像、あとソフトクリームの画像を掲載させていただいております。

以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。

ふるさと納税の特典でありますけども、これについて何か御意見、御質問等はないでしょうか。よろしいですか。

ないようでしたら、本日の議事事項、報告事項は全て終了いたしましたけれども、会議を閉じる前に、全体を通して何か御意見はございますでしょうか。

はい、どうぞ。

○副会長

1点だけちょっと。さきほどから樫山駅の話がけっこう出ていましたけれども、樫山駅が今、非常に乗車人数が増えてきたというようなことがありました。朝の便で、今コミュニティバス2台を1回走らせているんですが、乗り切らないという状況が出てまいりまして、今年度事業で、この間警察協議も終えたところなんですが、神姫バスにも立ち会っていただきまして、コミュニティバス、中型のコミュニティバスを導入するということにしましたところ、ロータリーが入れないというようなことがございまして、ロータリーの改修をして中型バスを導入いたします。2, 500万円の予算で中型バスを導入しまして、来年の1月から運行を開始しようと。今年度から新産業団地「ひょうご小野産業団地」の販売を行うということになりまして、匠台の工業団地へのシャトルバスを運行しているんですが、将来はこの中型バスを導入していきまして、巡回バスルートを構築していきたいということも考えながら、新たに1月から中型バスを導入いたします。

以上、報告をさせていただきます。

○会長

ありがとうございました。

利用促進、皆さん、ありがとうございます。

●●先生、よろしいですか。

○●●委員

はい。せつかくの機会なので、事務局さんに、いろいろ努力されているんですけど、2つお願いというか、今年度、是非取り組んでいただきたいなと思います。

1つ目は、さきほど広域時刻表を更にいいものにするというお話がありましたけど、是非ここまで継続的にされているので、この時刻表を使いながらモビリティ・マネジメントの連携した施策のほうですね、3市が連携してやっていただけるといいなと思っているので、是非御議論を願えればと。それが1つ。

もう一つ、中間評価を実施されるということで、非常にいいことだと思うんですけど、中間評価そのものはここでやって、数値目標も決めてやっているんですけど、ここには載っていないんですけど、実は公共交通があるおかげでまちににぎわいが出ているとか、例えば送迎しなくてもバスがあるから助かっているとか、そういうお話がたくさんあるので、そういうデータも取っておいて、次の計画を立てるときにそういうのが指標になれるように、基礎データの収集も少しお考えいただければというように思いますが、そのあたり2点、是非とも

御検討ください。

○会長

今、御提案をいただきましたが、事務局、いかがですか。

○事務局

御意見、御提案、ありがとうございます。

まず、1点目の時刻表を使いながらということで、今後また、実務担当者、沿線市と協議をしながら対策を考えていきたいと思っております。

それから、中間評価につきましても、今、基礎データを活用してということで御意見いただきました。我々も活用方法等をしっかり研究しながら、また、アドバイスを頂戴するかもしれないけれども、取り組んでいきたいと思っておりますので、また、よろしく願いいたしたいと思えます。

○会長

はい。ほかに何か。よろしいですか。

では、ないようですので、マイクを事務局に返します。

○司会

仲田会長におかれましては、会議の進行、どうもありがとうございました。

それでは、これをもちまして第37回神戸電鉄粟生線活性化協議会を閉会いたします。

委員の皆様におかれましては、今後とも粟生線沿線地域の活性化への取組等につきまして、なにとぞ御尽力をいただきますようよろしくお願いいたします。

なお、お知らせがございます。本年度におきましても、9月頃を目途に、国に対しまして粟生線活性化の取組等に対します支援の要望を予定しております。このため、次回協議会の開催につきましては、そのことを御議論いただくため、7月末から8月上旬にかけて予定をいたしておりますので、その際におきましては、皆さん、御参集のほうよろしくお願いいたしますと思えます。

それでは、本日はどうもありがとうございました。